

第 131 回東邦医学会例会プログラム

平成 20 年 2 月 8 日 (金) 午後 1 時～6 時 42 分
東邦大学医学部大森臨床講堂 (5 号館 B1)

2 月 8 日 (金)

当番教室：微生物・感染症学講座，外科学講座 (大森) 一般・消化器外科

開会の辞———微生物・感染症学講座教授 山口恵三

A. 一般講演

座長：中野弘一教授 (卒後臨床研修 / 生涯教育センター) 1～3 席 (1:00—1:27)

1. 東邦大学医学部医学教育研究会 (TOHO-WS) 参加者は何を期待していたのか (7 分)
○並木 温 (大森循内), 松橋正和, 佐藤二美 (医学教育研究会)
坪井康次 (教育委員会), 藤代健太郎, 高松 研 (教育開発室)
2. 東邦大学医学部医学教育研究会 (TOHO-WS) 参加後の認識の変化 (7 分)
○並木 温 (大森循内), 松橋正和, 佐藤二美 (医学教育研究会)
坪井康次 (教育委員会), 藤代健太郎, 高松 研 (教育開発室)
3. 本学学生の東邦大学を第 1 臨床研修先にしらない理由についての調査 (7 分)
○松崎淳人, 菊池由宣, 中野弘一 (卒後臨研 / 生涯教育セン)

座長：原田 孝教授 (リハビリテーション医学) 4～5 席 (1:27—1:45)

4. 変形性膝関節症・関節リウマチと骨粗鬆症の関係 (7 分)
井上泰裕 (1 整)
5. 人工膝関節再置換術後の立位時 center of pressure の変化に関する報告 (7 分)
○内 昌之, 大国生幸, 牛込伸行, 原田 孝 (リハ)
丸山 優 (形成), 土谷一晃, 勝呂 徹 (1 整)

座長：盛田俊介教授 (臨床検査医学) 6～7 席 (1:45—2:03)

6. RT-PCR 法を用いた癌腫における Toll-like receptor 4 の発現 (7 分)
○二本柳康博, 朴 英進, 森山彩子, 瓜田 祐, 吉田 豊, 田中 宏
杉下雄為, 大城 充, 木下敬弘, 長島 誠, 加藤良二 (佐倉外科)
村野武義 (佐倉研究開発部)
7. 経胸壁ドプラ心エコー法により冠動脈近位部狭窄を直接描出し得た不安定狭心症の 2 症例 (7 分)
○矢吹憲子, 田端強志, 佐々木健, 荒川直之, 金 徳男 (佐倉臨生機検査部)
杉山祐公, 中村啓二郎, 清水一寛, 野池博文, 東丸貴信 (佐倉循環器センター)

座長：後藤昌三講師（第1脳神経外科）8席（2：03—2：12）

8. High flow bypass によって治療し得た大型内頸動脈瘤の1例（7分）

○榊田博之，後藤昌三，野口悦孝，植草啓之，近藤康介，根本匡章
狩野利之，周郷延雄，坂田義人，清木義勝（1脳）

B. 平成18年度プロジェクト研究報告

座長：後藤昌三講師（第1脳神経外科）9席（2：12—2：22）

9. 中枢神経幹細胞特異的に発現する複合型糖蛋白質の同定と機能解析（8分）

○浜之上誠（細胞生理）
伊藤圭介（2脳）

座長：高松 研教授（細胞生理学）10～11席（2：22—2：42）

10. 関節リウマチにおける自己抗体の診断的意義についての検討（8分）

○北原加奈子（免疫）
高木賢治，西尾信一郎（大森膠原病）

11. Th1/Th2 細胞分化誘導におけるケモカイン CCL21, CCL19 の役割（8分）

○田中ゆり子（免疫）
高島明子（佐倉産婦）

座長：有田秀穂教授（統合生理学）12～13席（2：42—3：02）

12. 気道過敏症に対する免疫学的検討（8分）

○石川文雄（免疫）
関東裕美（1皮）
岡 和之（生物）

13. アレルギー発症に関する Th2 制御機構の解明（8分）

○岡田弥生（免疫）
中里純子（2小児）

座長：逸見仁道准教授（分子生物学）14～15席（3：02—3：22）

14. 神経芽腫細胞株における p21 遺伝子発現調節機構の解明（8分）

○関 正華，管 冬元（分生）
岩崎維和夫（大森消外）

15. DNA ミスマッチ修復タンパクによる DNA 二重鎖切断制御機構の解明（8分）

○有田通恒（分生）
菊池由宣（大森消内）

座長：水流弘通教授（薬理学）16～18席（3：22—3：52）

16. 前脳基底部コリン作動性入力を受容するラット嗅球内の細胞（8分）

○村上邦夫（生体構造）
中井修三（薬理）

17. 初代培養心房筋細胞を用いた心房細胞における心房的電気的リモデリングモデルの確立 (8分)
○中瀬古寛子, 守本慎一 (薬理)

18. 放射線誘発脾臓 B リンパ球アポトーシスにおける CD180 の発現性の解析
○藤田和子 (病理)
鎌田 至 (大森消内)

座長：石井壽晴教授 (病理学) 19～22 席 (3:52—4:32)

19. 実験的脳腫瘍における血管微細構造変化の分子病理学的検討 (8分)
○羽鳥 努, 密田亜希 (病院病理)

20. 吸入ステロイドの副腎髄質機能に及ぼす影響について (8分)
○廣井直樹 (糖・代内)
斉藤早代子 (大森循内)

21. MALT リンパ腫由来 MALT1 蛋白の発現性 (8分)
○横尾智子 (病理)
佐藤真司 (大森消内)

22. 閉塞性細気管支炎発症機序の病理形態学的解析 (8分)
○杉野圭史, 森田あやこ (大森呼内)

C. 特別講演

座長：高木啓吾教授 (大森呼吸器外科) 23 席 (4:32—5:02)

23. 特発性間質性肺炎の診断と最新治療 (30分)
内科学講座 (大森) 呼吸器内科教授 本間 栄

座長：坪井康次教授 (心身医学) 24 席 (5:02—5:32)

24. 精神疾患の早期発見・早期治療 (30分)
精神神経医学講座教授 水野雅文

シンポジウム (5:32—6:42)

企画・担当：微生物・感染症学講座，外科学講座（大森）一般・消化器外科

周術期感染症をめぐる最近の話題

司会：草地信也准教授（第3外科），館田一博准教授（微生物・感染症学）

1. SSI 対策

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1) 外科医の立場から（8分） | 渡邊 良平（3外） |
| 2) 看護師の立場から（8分） | 遠藤 英子（看護学科） |
| 2. 問題となる腹腔内感染症（8分） | 栗原 聰元（大森消外） |
| 3. 問題となる耐性菌の基礎知識（8分） | 嵯峨 知生（微生・感染） |
| 4. 抗菌薬の適正使用と管理—周術期感染症の観点から（8分） | 吉澤 定子（大森感染管理部） |
| 5. ディスカッション（20分） | |

閉会の辞——— 外科学講座（大森）一般・消化器外科教授 金子弘真

-
- 注1) 一般講演、プロジェクト研究報告の演者の先生は、必ず例会当日までに「雑誌掲載用講演抄録」(400字程度)と「* Keywords」(英語3語以内)を e-mail または出力しにデータを添えて受付に御提出ください (E-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp)。* Keywords は東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので、適切な用語を選んで下さい。
- 2) 企画講演の先生は、例会当日より4週間以内に3200字程度に総説としてまとめて提出してください。
- 3) 特別講演の先生は、例会当日より4週間以内に4000字程度にご講演内容をまとめて提出してください。
- 注：1～3とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定です。2, 3につきましては、詳細を受付におたずねください。